

平成30年度プレミアム商品券引換販売(10/15~31)

今年度は、町より当初予算で事業費補助金を受け、本会指導対策委員会を中心に検討委員会を開催し、昨年度の結果を十分検証した上で実施計画を策定しました。大きな変更点はプレミアム率で、20%から10%にして発行額を増やし、購入の要望に応えることにしました。事業は町商工観光課と連携して行い、今回も高齢者や交通弱者、年金受給者、共働き世帯に配慮し、十分に周知し休日にも対応しました。プレミアム分を含め発行した商品券総額は66,643,500円で、昨年対比で10%ほど多くの発行額となり、地域内消費喚起に繋がったと確信します。今後アンケートを実施し結果を検証します。



10/15 横田経営支援センター前

平成30年7月豪雨により影響を受けた事業者の皆様へ

この度の災害で、町内の多くの小規模事業者が顧客や販路の喪失に伴い売上が減少するなどの影響を受けています。そうした状況を少しでも緩和すべく、商工会では緊急支援対策を町に要望し、以下の2つの支援策で対応していただくことになりました。

①小規模事業者事業継続支援補助金の拡充

【支援概要】平成30年7月豪雨の影響を受けた小規模事業者が販路拡大・売上向上を図るため実施する事業に対し、その経費の一部を支援します。

【事業実施期間】平成31年2月28日まで

【対象者】平成30年7月豪雨により影響を受けた小規模事業者

【条件等】補助率:2/3 上限20万円(事業費総額が10万円以上)

②告知放送の町内広告料金の減免

【支援概要】町内での消費喚起を促し内需拡大となる告知放送について、ジョーホー奥出雲の町内広告料金を減免します。

(平成31年3月31日まで)

放送回数	放送料	
	正規料金	今回の減免措置
1回	2,057円	2,057円
2回	4,114円	
3回	6,171円	
4回	8,228円	

詳しくは商工会へお尋ねください！！

安心 安全

国がつくった

小規模企業共済

こんな悩みにお応えします

年金だけでは不十分で、不安がある

自分で積み増しするには、どんなものがあるの？

制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主(共同経営者を含む)または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

■ 契約者貸付けの利用が可能
契約者(一定の資格者)の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

■ 共済金の受給権は差押禁止
共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

※ 詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧ください

経営者のための退職金制度です!

中小機構

TEL:050-5541-7171 (共済相談室)

小規模共済

検索

おくいずも商工通信

Vol. 39

本 所 仁多郡奥出雲町三成324-15 TEL(0854)54-0158 FAX 54-0169
 経営支援センター 仁多郡奥出雲町横田992-2 TEL(0854)52-1119 FAX 52-1196
 発行日:平成30年12月10日 発行者:奥出雲町商工会

平成30年度 雲南ブロック商工会女性部研修会 10/4(木) 会場:横田コミュニティセンター



演題「ご縁で円と運を呼ぶ!」
 どじょう掬い女将のお話
 講師 有限会社竹葉 取締役 小幡美香氏

3年振りに雲南ブロック研修会が奥出雲町で開催され、来賓として勝田町長、植田商工会長、県女連野々村副会長をお招きし約100名の参加がありました。講師に足立美術館前の旅館「竹葉」の三代目女将、小幡美香様を迎えて講演を行いました。講演の中で竹葉に嫁いだ時は多額の借金があり、地元の人でさえ「まだ営業しているのか」と開店休業状態。そこで取組んだのは①地元への営業(地元の人に知ってもらい応援してもらう事。そうすればその先にいる観光客の方に振り向いてもらえる)②地元の食材を使った料理(マクロビ資格取得)③どじょう掬いを踊る名物女将(准師範の腕前、竹葉の個性を出す)④SNSの活用(お金をかけなくてもコツコツできる)など。一人でも小さな宿でも個性の出し方や発信の方法などこの講演会を通して沢山のヒントを頂きました。数々の苦労話も「笑う事、笑顔は良縁と良運を呼び、何事もご縁を感じ結びつけていく事。するとご縁が円を呼ぶんです!」と小幡様。同じ女性経営者として、とても前向きで会場の皆さんがパワーを頂けた講演会でした。講演会終了後のアトラクションでは「どじょう掬い」を松崎敏江さんと松原美代子さんが「鬼の舌震音頭」では足田順子さんの指導のもと有志8名が仕事の合間をぬって練習を重ね、大会を大いに盛り上げました。また、今年5月の県大会(12年ぶり)に続き、今大会も奥出雲町で開催され「当たり年」の女性部でしたが、多くの部員の皆様が前日準備や当日の運営協力を頂き、奥出雲町女性部の団結力の強さを感じた年となりました。



松崎敏江さん

松原美代子さん

和久利部長

コミセン前にて

鬼の舌震音頭

(左から)
 白根綾子さん
 若柳裕子さん
 諏訪和子さん
 吉川さよ子さん
 石原敬子さん
 足田順子さん
 小幡操子さん
 原 浩美さん